

## 更正の母に贈る詩

お母さん あなたの尊い心が  
きらきら輝いています  
愛と夢をもぎとられ  
悪の吹き溜まりへと  
引きずられたあわれな幼魂に  
心のぬくもりと人の道を開いて  
優しくさとしてくれたあなた

お母さん あなたの成す業が  
きらきら輝いています  
己の生活をも捨て  
日夜地獄の底をさまよう幼魂に  
限りない愛と生きる喜びを  
さとした寛大なあなた

おお母よ あなたのはぐくむ果てなき愛は  
あわれ傷心のさとりをしらぬ幼稚な者らに  
博愛の心を開き安らぎを与え  
悪を成す業を心から憎み  
正道を愛した勇気あるあなた

おお母よ あなたの愛は  
新しい愛の息吹を注ぎ  
見事に芽生えました

おお母よ あなたの愛は尊く  
その業は偉大でした

お母さん 心の愛をありがとう



お母さん（島マスさん）、どうぞ無理をなされずいつまでも元気でいて下さい。もっともっと長生きして人道を踏み外した子供たちのために、変わらぬ愛の言葉で育んでやって下さい。私は何もお役に立つことはできませんが、陰ながら声援しています。女子ホームを出てから二十年余になります。私はこれからもまじめな心で生きていくようにがんばります。ご安心下さい。

※この詩は1979年島マスが琉球新報賞を受賞したとき、女子ホーム出身の「子」が氏にあてた匿名の新聞投書です。マスはのちに「私は、どんなお祝いのことばよりも、この匿名の投書に感動しました」と述懐しています。